

令和7年度の重点と具体策 教育目標「いきいき わくわく のひのび」

| 重 点 | 具 体 策 |
|--|---|
| <p>【重点1】 就学に向けて、自ら進んで健康で豊かな生活を送るために、必要な習慣や態度を身に付ける。</p>  | <p>(1) 保護者と共に、健康な生活リズムや基本的な生活習慣の定着を図る。(早寝早起き朝ご飯、身の回りの始末、返事、話を聞く態度など)</p> <p>(2) あいさつ、話の聞き方、食事の所作など、振る舞い方を身に付けさせるために、職員が手本を示す。</p> <p>(3) 合言葉「自分の命は自分で守る」を理解させ、不審者や災害時の行動を発達段階に応じて指導する。</p> <p>(4) 育て食べること、栄養教諭による直接指導、職員による食育劇、食材五感体験、米作り、カレーの日、愛情弁当の日などを通して食育の充実を図る。その成果と課題を全職員で共有化し、具体策を確実に教育課程に反映させる。取組内容は、令和7年度食育講演会で食育推進校として実践発表する。</p> |
| <p>【重点2】 学級・学年を超えた縦割り保育や幼保小連携による交流活動により、一人一人の子どもに存在感をもたせる。</p> | <p>(1) 話し合う機会を増やし、子どもにとって自分の考えや思いが受け止められる喜びを体験させ、一人一人の子どもが存在感をもって生活する集団をつくる。</p> <p>(2) 自分でできることは自分でできるようにさせるために、自分でやってみたいという意欲をもたせ、やったらできたという充実感や満足感をもたせる。</p> <p>(3) 一人一人の多様性に配慮した上で、幼保小のつながりを意識して日々の保育を行い、子どもの育ちと学びをつなげていく。そのために、子どもに関わる様々な立場の大人が協働して、先生と先生、子どもと子どもをつなげる取組を建昌幼稚園から発信する。</p> |
| <p>【重点3】 子どもが戸外で過ごす心地よさや楽しさを味わえる、主体的な遊びを十分体験させる。</p> | <p>(1) 体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、運動好きな子どもを育てる。そのためにも、仲間と関わる楽しい体験をさせ、仲間のよさを認め合う土台を作る。</p> <p>(2) 園庭全体の空間や遊具・遊び用具の配置を、子どもの自然な活動の流れに合わせる。</p> <p>(3) 音楽に親しみ、感じたことを歌ったり、身体表現をしたりして楽しむ。</p>  |
| <p>【重点4】 「始良市子育て基本条例」をもとに、未来を担う子どもたちのために、将来の自立に向けた子育て・人づくりに関わっていく。</p>  | <p>(1) 給食放送や季節行事、昔遊び、地域の伝統文化などに触れさせ、親しみをもてるようにする。</p> <p>(2) 「たんぽぽ会」、職員による読み聞かせ、市立図書館移動図書を活用し、絵本や紙芝居などに親しませる。</p> <p>(3) 始良市子育て手帳や子育て便利帳を活用し、「子育て基本条例」を周知する。また、「サラダクラス(家庭教育学級)」や園行事を通して、家庭教育支援のための学習機会の提供や情報提供に努める。</p> <p>(4) 家庭・医療・福祉・療育機関との連携を図り、個別の支援計画につなげる。多様性に対応した保育の在り方を探るための研修を継続し、専門性の向上に努める。</p> <p>(5) 地域幼児ふれあいや幼保小との交流を通して、社会全体で協働して子育てを進めていく姿勢を示し、その成果を公立幼稚園のよさとして積極的に発信する。</p> |